



見えなくなったものの目になって、ものを見なさい

監督：飯名尚人 振付・演出・出演：田村一行（大駱駝艦）

ダンス映画「しまもりさいじき」上映展示

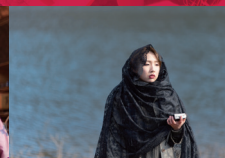
[通常展示] 映画上映（ループ上映）、小道具展示

令和2年3月7日(土)～3月14日(土) 10:00～16:00 ※3月9日(月)を除く

[特別展示] 映画上映+舞踏+音楽ライブ、トーク

3月15日(日) 13:00～17:00

会場：八戸市南郷文化ホール 入場無料(入退場自由)





プロジェクトについて

「島守ダンス映画製作プロジェクト」はダンスをモチーフとした映像作品「ダンス映画」を、地域の方とアーティストでつくり、地域の「記録」と「記憶」を残すプロジェクトです。今回は南郷島守地域を舞台に、約8か月に渡って制作した映像と、撮影で使用した小道具などを展示します。最終日には舞踏や音楽のパフォーマンス、トークなどのイベントも加えた特別展示を行います。

映画について

南郷島守地域は、「平家の落人の里」であったと言われており、歴史と風土が息づく土地です。島守を歩く長い時の流れを感じ、姿かたちのない何者かがこちらを見守っているようで、優しいような、厳しいような不思議な感覚を覚えます。この映画では、島守の民俗芸能、地域行事、季節の風景、かつて行われていた風習を「見えないものの目」で捉えようとしています。「目に見えないもの」は、時には、目に見えるところに現れて、島守の人々とともに催事・祭事を行います。過去・現在・未来、生と死が共鳴し、循環するこの地域のあり方を幻想的な映像で綴ります。

作品の楽しみ方

この作品は春夏秋冬の4つの章で描かれ、3面スクリーンで上映されます。会場の入退場は自由。全編はもちろん、季節ごと、自分の観たいシーンだけ、というように、思い思いの時間でこの映画をご覧ください。一度にすべて観られないときは、何度かに分けて観ていただいても構いません。四季折々の島守の行事や風習を綴った「さいじき（歳時記）」を体感してください。

春 (36分)

夏 (57分)

秋 (23分)

冬 (約50分)



- ・島守神楽
- ・島守春祭り
- ・虫追いまつり
- ・朝もや ほか



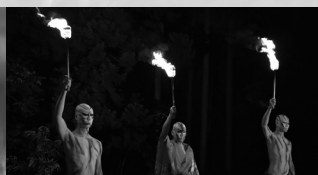
- ・島守虎舞
- ・ひまわり畑
- ・花嫁行列と葬式行列
- ・タバコ、さくらんぼ畑 ほか



- ・稲刈り
- ・紅葉林
- ・りんご畑
- ・百万遍



- ・世増ダム
- ・おじょう藤九郎と七ノ神
- ・荒谷えんぶり
- ・子ども舞踏



脚本・監督・撮影・編集・展示構成：飯名尚人（映像作家・演出家）
振付・演出：田村一行（舞踏家・大駱駝艦）

出演：田村一行、高桑晶子、塩谷智司、鉾久奈緒美、小田直哉、坂詰健太、阿蘇尊（大駱駝艦）、八戸市南郷島守地域の皆さま（荒谷えんぶり組、荒谷地区、沢代キュートン、島守神楽保存会、島守虎舞、八戸市立島守小学校児童、八戸市立島守中学校生徒、日ノ戸瀬地区、ほか）、石橋雄磨、杉本杏、長谷川華、エキストラの皆さま、音楽：立花聡、西塚篤史、展示構成：皆川俊平、写真：蜂屋雄士、撮影アシスタント：黒川莉代、協力：荒谷えんぶり組、（株）アート&コミュニティ、高松寺、島守神楽保存会、島守地区自治会連合会、島守第7区自治会、島守田園空間博物館運営協議会、島守虎舞、第6区虫追いまつり保存会、八戸市立島守小学校、八戸市立島守中学校、八戸市南郷島守地域の皆さま、八田グループ、南郷観光協会、山の楽隊運営協議会（五十音順・敬称略）